2025年3月25日

あわら市をより豊かに！

あわら市議会議員

# 青柳あつし

## 市政報告 Vol.015

### ～ごあいさつ～

草木が芽吹き、春の訪れを実感する季節となりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。春は新たな始まりの季節———入園・入学、就職、転居など、環境の変化に期待と不安が入り混じる時期でもあります。それぞれの場での皆さまのご活躍を心より願っております。

さて、３月定例会では新年度予算が可決され、未来のあわら市を形づくるさまざまな事業が動き出します。特に 今年度策定予定の「総合振興計画」は、今後 10 年間の市の方針を決める重要な指針です。子育て支援の充実、地域の活性化、高齢者が安心して暮らせる環境づくりなど、市民の皆さまの暮らしを豊かにする施策を進めてまいります。

皆さまの声こそが、制度や施策をより使いやすく、頼れるものへと発展させていきます。市民の声を行政に、行政の指針を市民の皆さまにわかりやすく伝えていくことで、より豊かなまちづくりを目指してまいります。引き続き、ご意見やご提案をお寄せいただければ幸いです。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 永平寺町議会があわら市のDXを視察

永平寺町議会の皆さまが、あわら市議会の DX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みを視察に訪れました。

あわら市議会では、タブレットの導入からはじまり、さらにその先のデジタル活用へと段階的に DX を進めています。今回はタブレット導入の経緯や現在の運用、さらなる活用の見込みについてご紹介しました。

あわら市では、タブレットへの切り替え時期を明確に設定し、電源の入れ方から学ぶ４回の講習会を実施したことで、議員がスムーズにタブレットを活用できるようになりました。このような事例は、他の議会運営における DX にも活かすことができると考えています。

今後もデジタル技術を活かし、さらに業務効率化を進め、議会運営の質を高めてまいります。

# 3月議会　一般質問の裏側

３月定例会が２月 25 日から３月 21 日までの会期で開催されました。

一般質問の裏側ということで、想い・考え方・反省点・今後をみなさまにお伝えします。なお、全文に関しては私のホームページに原文どおり掲載しています

今回の一般質問は、「声を届ける」をテーマに、質問をさせていただきました。これをきっかけに、あわら市がより豊かになるための取り組みが始まることを期待しています。

## 市民の声と行政サービスのズレにどう向き合うか

### 市民の意見を反映するには？

日々の生活の中で、
「もっとこうしてほしい」
「この制度は使いにくい」
と感じることがあっても、それが行政にうまく伝わらなければ、生活は変わっていきません。

市民が求めることと、行政が提供するサービスとのズレをなくすことで、豊かなあわら市が実現すると考えます。

現在、あわら市では、これからの 10 年間の方向を決める「総合振興計画」がつくられようとしています。市民の意見をしっかり反映させるためには、これまでの方法にとらわれない、新しい取り組みが必要です。

そこで、今回の一般質問では、「市民の声をどのように集め、政策に活かしているのか」を質問しました。オンライン会議やライブ配信を活用し、誰もが気軽に意見を言える場をつくることで、市民参加を広げ、これまで意見を言えなかった人も発言しやすくなる仕組みを提案しました。

しかし、どんなに便利な仕組みがあっても、それを上手に活かさなければ意味がありません。市民の意見をただ集めるのではなく、市民と行政が一緒に考え、話し合いを深めることが重要です。そのために、行政は市民と向き合い、意見を受け止めるとともに、政策を分かりやすく市民に伝えていく必要があります。

これからも、市民の声を政策に取り入れ、あわら市の豊かな未来をつくっていくために尽力いたします。

市民の声と行政サービスのズレ

**参加者募集**

**あわらの未来について語りませんか？**

4/12(土)

**総合振興計画ワークショップ**

詳しくはあわら市政策広報課まで

# 視察報告

## 地域交通の利便性向上（埼玉県川口市）

埼玉県川口市における 地域交通の利便性向上に向けての取り組み を視察しました。川口市では、自動運転バスの実証実験や、バス停から自宅までの移動の利便性向上に向けた取り組みを進めています。

人口規模や交通環境はあわら市と異なりますが、共通する課題も多くあります。特に、車社会ではない川口市では、バスを中心とした公共交通の維持が課題です。あわら市でもバス路線の廃止が進む中、「デマンドタクシー」などの新しい交通システムを効率的に活用し、市民の移動手段を確保する取り組みが求められています。

また、解決策として期待される自動運転技術は、今後数年で実装が進む可能性がありますが、技術の進展を待つだけでは現在の課題は解決できません。今ある課題をどう解決していくのか、具体的な施策を検討しながら、できることから着実に取り組んでいきたいと考えています。

## ふるさと納税 3.0 の取り組み（埼玉県羽生市）

埼玉県羽生市の ふるさと納税 3.0 の取り組みを視察しました。

この仕組みは、事業者が返礼品の質や出荷量を向上させるための有効な手段として注目されています。羽生市では、あわら市より 1 年早く同制度が導入されており、今回はその取り組みの経緯や課題、改善のポイントについて貴重な話を伺いました。

あわら市でも本年度から ふるさと納税 3.0 を開始する予定です。今回の視察で得た知見を活かし、ふるさと納税の更なる拡大と地域事業者の発展につなげたいと考えています。私自身も、地域経済の活性化と財源確保のため、この制度の推進に尽力していきます。

**認知症？**
**悩む前に相談を！**

## チームオレンジ（認知症予防施設）

認知症の進行は、人とのつながりが薄れることで加速すると言われています。認知症の予防や進行を少しでも抑えるための取り組みを見学してきました。

「オレンジカフェ」と名付けられたこの場では、ほのぼのとした温かい雰囲気の中、お茶を飲みながら歌を歌ったり、体操をしたり、おしゃべりを楽しんだりと、参加者が笑顔で過ごしているのが印象的でした。

ご家族が 認知症かな？ と疑われる場合、不安や心配もあることでしょう。そんなときは、一緒にこうした場を訪れてみるのも一つの選択肢です。相談員と認知症について相談することもできます。

「悩む前に、まずは相談を。」

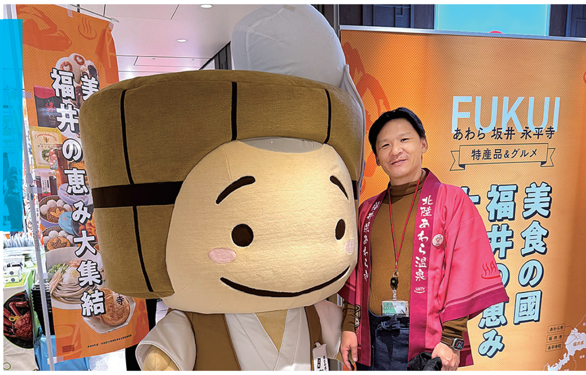
オレンジカフェをのぞいてみませんか？

**オレンジカフェ開催情報**

**毎週火曜日 13:00 ～ 16:00**
**あわら市さくらセンター（柿原）**
**お問い合わせ：あわら市健康福祉課**

# 活動報告
Activity Reports

稲田衆議院議員と福井をPR



埼玉県川口市視察

紹興市友好40周年

大鳥神社

商工会異業種交流会

芦原温泉リボーンプロジェクト

地域活性化プロジェクト（あわらサンドボックス）

出初式

## みなさんのご意見をお聞かせください。

一般質問ご意見募集

- 子育て支援
- 人口減少
- 地域活性化

市政よろず相談室

メール・FAXは24時間受付
mail：atsushi@a-aoyagi.com
FAX：0776-73-5539
TEL：0776-73-0313

## 編集後記

市内小中学校の卒業式に出席してきました。昨年度はホームページ作成で先生方と関わる機会が多かったり、子ども議会でたくさんの子どもたちと話したり、そして今の校長先生が私の昔の恩師だったりして、なんだかすごく身近に感じる卒業式でした。

それぞれの旅立ちの瞬間に立ち会えて、胸が熱くなりました。感動をありがとう!